

平成29年(2017年)4月1日発行

新入生の皆さんへ 理事長からのメッセージ

晴れて入学されたみなさん、おめでとうございます。学園を代表して歓迎と祝福のことはお届けしたいと思えます。また、ご家族のみなさま、まことにおめでとうございます。

今年、日本工業大学は設立50周年を迎えました。この大きな節目に入学されたのが皆さんです。学園創立から100周年になります。一世紀以上前という遠い昔ともいえませんが、若者たちの時代の先端技術を自分のものになりたいという気持ちは変わらないでしょう。学園の発祥である東京工科大学が開校したころは、単業機の試験飛行に学生たちが協力したこともありまし。機械・電気・建築をはじめ、学園は時代の最新技術と学生の学ぶ意欲との接点となってきました。つねに「更新」と「バージョンアップ」をし続けてきた歴史があります。日本工業大学の誕生は、学園60周年を

視野を広げて
4年間で過ごそう理事長
柳澤 章

クラブ棟などが姿を現します。

さて、これから工学を学ぶみなさんはどのような技術に注目しているのでしょうか。火星の有人探査に日本も名乗りを上げました。遠大な計画です。身近にはAI、IoTがさまざまな社会の仕組みに入り込んで、私たちの暮らしのどこか

機に、工業高校生の学ぶ意欲にさらに高度な工学の学びの機会を提供しようと開学したものでした。大学の50年の歩みにおいても、節目に大きなバージョンアップを図っています。10年前の学園100周年に建てられたのがLCセンターです。そして今回、新たに講義棟、食堂棟、

どう変わるのか、予想がつかないような状態にあるといえます。人間の仕事がなくなつて失業するという人もいます。一方、農業にタブレットを活用して作物の品質を良くし、消費者と直結して競争力を高めるなどの動きも広がっています。これからの技術者は何を作るかだけでなく、その技術をどう使うか、どう使われるか、多面的に注視していくことが大切ではないでしょうか。製造業における環境配慮については、高度成長期の深刻な公害の発生を教訓に大きく改善が図られました。今日では、日本学術会議で軍事研究と大学とのかわりについて議論が起こっており、関心を向けるべき課題です。これからの4年間、この素晴らしいキャンパスで今までに体験したことないさまざまなものに触れながら、自分を広げていってください。その経験のすべてが、人生の糧となるでしょう。

ご入学おめでとうございます

新入生の皆さんへ 学長からのメッセージ

新入生のみなさん、入学おめでとう。本学が目指すのは「学生一人ひとりが確実に成長し、夢がかなえられる大学」です。みなさんの「かなえたい夢」は何ですか。

自分の夢と言われても明確に思いつかない、という人もいるかもしれませんが、でも、「人生のうちでやりたいこと」と言われれば、きっと何か思いつくはず。それを達成するための知識、スキル、センスを身に付ける。そのためのプログラムが、日本工業大学には豊富に用意されています。

これからの社会では、身につけた知識や技術を組み合わせ、イノベーションを起こしていく「つなげる力」が重要。しかし、そもそも「つなげる」ための知識を持ち合わせていなければ何も始まりません。皆さんの世代は、日常的にスマートフォンを使って何でも検索して手

「学ぶために学ぶ」
確実な成長をめざして学長
成田 健一

軽に情報を入手しています。いつでも調べられるから逆に覚えようと思いません。ただ検索しては忘れ、というむなしい作業の繰り返し。頭の中を、利根的に断片情報が通過する。そんな行為を繰り返す生活にどうぶりと浸かっていますか。そんな勉強法だけでは、確実な成長は

望めません。手取り早く、楽をして得た知識は忘れるのも早い。時間を費やし苦勞して得た知識が本当の意味で皆さんの成長につながります。「効率よく学ぶ」という発想はやめて、「何ができるようになったか」を常に自分で振り返る習慣をつけよう。

日本の社会は今、技術革新だけでなく働き方、価値観、社会制度など色々な側面で大転換が起き始めています。これからの時代を生き抜くために必要なことは「絶えず学ぶこと」。そのために「学ぶことを学ぶ」。つまり将来に向け、学ぶ方法を身に付けることが、大学で学ぶ大きな目的なのです。

今の大学選びが、偏差値で左右されているという現実が確かにあります。しかし、偏差値テストで測定できる人間の能力は20%程度と言われています。人には偏差値で測ることのできない能力がたくさんあるのです。自分の得意なことを発見し、社会に貢献する技術と人間性を磨く。みなさんにとって、そんな4年間になることを願っています。

今日から卒業まで、皆さんの持ち時間は三万五千時間あまり。それをどう使うかは、皆さん次第です。

新入生の皆さんへ 学生自治会中央執行委員長からのメッセージ

最高の大学生活を送るために

中央執行委員長
機械工学科4年
高橋 正義

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。学生自治会を代表しまして、心よりお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆様は大学生になり、資格取得、委員会活動、部活動、サークル活動、アルバイト等、様々な事に挑戦しようと考えているのではないのでしょうか。

か。大学生活は自由度が高く、多くの楽しい事が待っていますが、その反面、自分自身で判断し決断する事が大切になります。自分の行動には責任を持ち、何にでも挑戦してください。もし失敗しても、次の成功への大きな糧となり、自分自身の成長へと繋がるでしょう。

う。自分一人でも、仲間たちとでも、多くの事に挑戦してください。

大学生活を送っていくと、楽しい事だけでなく、辛い事や悲しい事、時には挫折しそうな時もあると思います。そんな時は一人で悩まず、周りの人に相談をしてみましょう。周りの人はきっとあなたを助けてくれます。楽しい事も辛い事も、沢山経験してください。そして、大学生活で学んだ経験を、この先に待ち受ける多くの困難に立ち向かう力にしてほしいです。そのために、今を一生懸命全力で過ごして、最高の大学生活を送ってください。

最後に、この大学生活を通して得た出会いや経験は、これからの人生で最高の財産となるでしょう。また、これからの皆様が本学において様々な事を感じ、多くの事を学び、有意義な大学生活になることを切に願い、歓迎の言葉と致します。

専門職大学院だより

日本のモノづくり基盤を支えるMOT

技術経営研究科 研究科長・教授 小田 恭市

我が国における中小製造企業数の減少傾向に歯止めがかかりません。中小製造企業は2000年に31万社でしたが2015年には20万社となっており、15年間で11万社ほど減少しています。この傾向は、今後とも続くものと言われている。日本のモノづくり基盤を

支えしてきた中小製造企業数の減少は我が国製造業にとって危機的状況とも思われます。西武信用金庫の落合理事長によれば、中小企業の40%は後継者難などを理由に新たな投資を控えて「均衡縮小・廃業」へと向かい、40%は変革に取り組みない「現状維持」で長期的には「均衡縮小・廃業」へと転じる可能性が高いと案じています。残る20%は、「変革に挑戦」する元気な中小製造企業として日本

のモノづくりを牽引するものと期待しています。

大手企業のグローバル化と新興国の台頭、中小企業において深刻さを増す事業承継問題、筆者による近年における中小製造企業へ

の実態調査などを踏まえると、落合理事長の見通しは妥当性の高いものと言えます。

この流れを如何に変えるかは、国レベルの政策的な課題であり、日工大MOTが果たすべき役割でもあると言えます。日工大MOTの授業では、問題意識をもって経営変革に取り組むとする経営幹部等に対し更なる変革意識を高めるとともに、変革のための基礎知識・考え方、手法・スキルなどを身に付ける実践的MOT人材を育成しています。また、特定課題研究(修士論文)では経営幹部等が目指す自社の経営変革を個別的な研究指導(コンサルテーション)によって支援しています。こうした小さな取り組みを積み重ねることによって、我が国の中小製造企業の経営変革に貢献しているところです。

今後とも、日工大MOTが日本のモノづくりを支える中小製造企業の変革を支援する大学院として、従来以上に貢献できるよう、教職員一体となって努力して参ります。

ようこそ、実工学の学び舎へ

教務部長からのメッセージ

新たに大学へ入学した皆さんを大学では「生徒」ではなく、「学生」と呼びます。高校までは「生徒」でしたが、「生徒」とは既知の事実を学ぶ人であり、知識の蓄積と与えられた問いに決められた通りに答えられることを目指しています。これに対して、「学生」は自ら問題を提起し、自分なりに仮説を立て、その答えが妥当なのかを論証することができるようになることを目指します。このことはこれまでの「正答」があった問題と異なり、自ら答えを出した上でその答え



「学生」になって学ぶこと

教務部長・教授 神野 健哉

えが正しいのか、正しくないのか、それが求められている要求に対して相応しいのかを自分で判断しなければなりません。では、自分で求められている要求に対して相応しい答えを導くためにはどのような姿勢で学ぶことが必要でしょうか。中国戦国時代の儒学者の『荀子』は儒教の中で「聞かざるは之を聞くに若かず。之を聞くは之を見るに若かず。之を見るは之を知るに若かず。之を知るは之を行うに若かず。学は之を行うに至って止まる。」と記しています。

学科主任からのメッセージ

日本機械学会の年鑑を見ると、機械工学の守備範囲は航空宇宙からバイオまで、想像以上に広いことが分かります。つまり、将来皆さんの力を発揮できる産業分野は極めて広いので



未来へと続く道

機械工学科主任・教授 中野 道王

す。それ故に、これから皆さんが本学で学ぶことも多岐にわたります。もしもその幅広さに不安を感じたら、富士山を思い浮かべて下さい。のびやかで広大な裾野の上にそびえる凛とし



人と環境に優しいものづくり

ものづくり環境学科主任・教授 八木田 浩史

ものづくり環境学科では、ものづくりの現場における環境改善、環境配慮型製品の設計・製造に取り組む専門家を養成することを旨としています。定員50名と少数の学科ですが、基礎的なこと、既知であることを学ぶ必要があり、ますが単に受け身の姿勢で聞いているだけでは知識が身に付くことはありません。知識を実際に使用してみるという能動的な学習姿勢が大事なのです。本学は理論を学ぶと同時にそれを実践することを重視している大学です。学生になった皆さんが実践を交えた学びをするのを期待します。



その夢を大切に

創造システム工学科主任・教授 中里 裕一

新入生の皆さん、創造システム工学科へようこそ。希望に燃える皆さんの明るい夢を、大学生活にぶつけ、悔いのない大学生活を送ってください。さて、創造システム工学科はロボット創造コースとマイクロナノ創造コースから構成される、国内でも珍しい名称の学科です。本学が創立した50年前にはSF小説や漫画の中だけしか見られなかったロボット工学や遺



電気電子を楽しもう

電気電子工学科主任・教授 青柳 稔

電気電子工学は、生活や産業のあらゆる場面に及んでいます。しかし私たちが、その本質である電子や電波を、直接見る事はできません。見えない相手の性質を理解して制御するには、一つ一つの事象を丹念に調べて、難しく感じる全体を理解する必要があります。それを支える道具が学問です。目に見えない事象を相手にする電気電子工学科では、学ぶ範囲が広く



ものづくり新時代の到来

情報工学科主任・教授 辻村 泰寛

新入生の皆さん、情報工学科へようこそ。皆さんの入学を心より歓迎致します。経済産業省が「ものづくり+企業」、すなわち日本企業の体質を「ものづくり」から「価値づくり」へ転換することにより、国際競争に負けない産業構造を構築することを提唱しました。その中核となる技術は、人工知能やIoT（モノのインターネット）などの情報



潜在能力を発見するために

建築学科主任・教授 那須 秀行

建築学は身近で広い分野に関わる工学です。ですから、各自が個性豊かに活躍できる場が必ずあります。また、日常の気づきが建築の勉強に繋がります。建築学科の学生は伝統的に自ら行動できる気質があります。引続き積極的



身の回りの空間のプロになろう

生活環境デザイン学科主任・教授 足立 真

建築やインテリアは身の回りにあって普段何気なく接しているものですが、皆さんはそのような状況に対応できる力が必要です。空間をつくる時に、対象とする人や場所条件は常に異なります。時代の流行や社会情勢も変化します。積極的にいろいろな場所を訪れ、いろいろな人にとっての身の回りの空間に触れる経験値が、必ず将来の役に立つでしょう。大学での学びを



幅広い教養を修めよう！

共通教育系主任・教授 菊地 信一

共通教育系では、教養学、体育学、英語・ドイツ語・中国語等の語学、キャリア教育などの文系教員と、数学、物理、化学などの理系教員で構成されています。各自の研究と共に、それぞれの広い領域の科目を担当しています。新入生が受講する科目も多いため、スチューデントアワー（先生への個別相談の時間）も、ぜひご利用なさることをお勧めします。なお、専門分野を学ぶための基礎学力を付けることが目標です。共通教育系は、文学、心理学、法

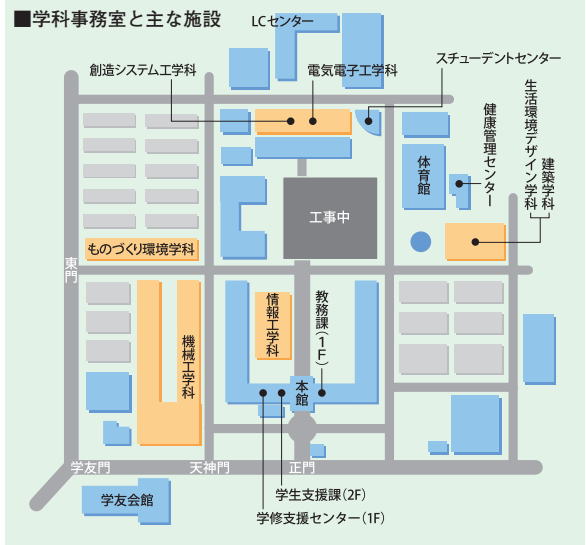


成功体験を積み重ねよう

学生支援部長・教授 竹内 貞雄

新入生の皆さんの入学を心から歓迎します。多くの人間にとって大学の4年間は最後の学生生活となり、卒業すれば社会人として65歳以上まで40数年間仕事をすることになります。つまり、大学生活は小学校から高校までの勉強の仕上げであり、社会人として活躍するための資質を高める場であるわけです。それが単なる英語や数学の学力だけではないことは十分に想像できると思います。

人工知能（AI）が囲碁の最高位のプロに勝ったことが話題になっています。人間の思考力を上回るコンピュータの台頭により20年後は、日本の労働人口の50%が従事している職業が人工知能やロボットで代替可能との試算が発表されました。このような労働体系の急変は皆さんの祖父母が炊飯器や洗濯機の購入で家事が楽になった時代から、現代のインターネットで美味しいレストランを検索し予約を入れて食事を楽しむといった、約80年かかった変化がわずか20年で生じるわけです。すなわち、三世代にまたがった変化を



新入生対象の主なスケジュール（2017年4月初旬）	
3月31日（金）	オリエンテーション（教務部、学修支援センター、女子学生対象など）、学生証交付、健康診断
4月 2日（日）	入学式、オリエンテーション（外国人留学生対象、編入生対象）
3日（月）	オリエンテーション（各専門学科）、新入生に対する調査
4日（火）	オリエンテーション（学生支援部、学生自治会）、女子学生交流会
5日（水）	フレッシュマンキャンプ（1泊2日）
8日（土）	春学期授業開始

入学後の大まかなスケジュールなどについてご案内します。

■まずはオリエンテーションをよく聞こう

入学式の前後には、関係部署がこのオリエンテーションが実施されます。例えば、教務部は履修方法や単位取得などについて、学修支援センターは利用案内、学生支援課は学生生活全般の心構えのほか、女子学生や留学生向けといった対象者別の説明も行います（左下の表を参照）。

疑問や不安に思うことがあっても、他人の前では質問しにくいことがあるかもしれませんが、その場合は先生に直接相談するなどして、一つ一つ解決していきましょう。

■授業のスタートはフレッシュマンゼミから

オリエンテーション期間が終わると、いよいよ授業が始まります。その間は月曜から金曜の午前11時から午後6時まで（休み期間は除く）。授業内容の質問から大学生活や人間関係の悩みまで、専門の教員（チューター）が相談に応じます。気軽に利用してください。

■大学生活は人間関係づくりの場

大学生活においては、人間関係づくりがとても大切です。新しい友達をつくり、先輩とも親しくなるために、クラブ活動や学生自治会などに積極的に参加することをお勧めします。

■研究室や工房へ積極的に訪問しよう

研究室に正式に所属するのは3年次、学科によっては4年次になってからですが、オープンキャンパス参加などに興味をもった研究室や工房があれば訪問してみたいかがでしょう。1年次から研究に取り組み、立派な成果を残した先輩もいます。

大学生活のスタートにあたって

学生相談室 畑屋 真由美

大学での4年間は、社会的にも精神的にも、子どもから大人へと成長を遂げる時期です。このような大きな変容は人間にとって充実感をもたらす一方で、時にはストレスと感じられることもあります。相談室では心の専門家が相談に乗りまします。気軽に来室してみてください。

学修支援センター 川合 耕一郎

学修支援センターは誰もが自由に使える自習室です。基礎科目（数学・物理・英語）や授業内容・履習・生活全般の相談はもちろん、主体的な学びに繋がるサポートを用意しています。スタッフと学生ボランティア一同、君達の来室を待っています。

就職支援課 初見 範子

未来の自分は、あなた自身が作り上げていくもの。だから、この4年間でどのように過ごすかによって大きく違ってきます。自分の可能性を信じて何事にも意欲的に挑戦してください。就職支援課は、あなたの就職活動を全力でサポートします。

LCセンター 佐藤 建夫

LCセンターは図書館を中心とした複合施設です。学生が自由に利用できるPC、グループ学習用のゼミ室等を備えています。今年度よりレストランが併設され、センター内で一日中過ごすことができます。多数のご来館お待ちしております。

NITクリエイト 西垣 昌彦

学生の皆様のキャンパスライフが充実したものとなるよう、学生食堂、売店（書籍・文具・飲料水の販売）の運営、さらにはアパートの斡旋、資格取得支援、保険代理店、学内清掃、警備等の業務を行っています。詳細はHPをご覧ください。

財務課 山本 好央

財務課では、学費・追試等の収納業務や納付期日の相談を受け付けています。また、物品の調達・支払等も行っています。皆さまの学校生活が円滑・有意義に送れるよう財務課スタッフ一同「縁の下での力持ち」でありたいと願っております。

学生支援課 大塚 竹郎

学生支援課では、委員会・クラブ活動の支援や奨学金事務のほか、学生証や学割証の発行なども行っています。できるだけ多くの新入生が、クラブ活動や大学祭などの学生イベントに参加して、大学生活を楽しんでくれることを願っています。

スチューデントラボ 上野 貴博

スチューデントラボは、全学科の皆さんが利用できる「ものづくり」の施設です。機械加工・電子工作・木材加工などに必要な工具類を揃えています。専門スタッフが相談を受けますので、皆さん積極的に活用してください。

総務課 杉村 京子

総務課では、入学式や卒業式などの行事・式典に関すること、保護者の皆様で組織されている後援会に関することなどを扱っています。「総務課」の名称の通り、どんなことでも受け付けていますので、困ったことがあったら、遠慮なくご相談ください。

教務課 松永 浩徳

教務課では、①履修申告②休学・退学③試験や成績④在学証明書等の発行などを取り扱っています。わからないことがありましたら気軽にお越しください。みなさんが充実した学生生活を送れるようサポートします。

健康管理センター 林 祐司

健康管理センターは、学生及び教職員の健康相談や応急処置、運動指導を担当します。また、原則毎週水曜日には、校医による健康相談も実施しています。気楽にお越しください。定期健康診断を受診した学生には、健康診断証明書を発行します。

英語教育センター John Porteous

What's here? It is a place to relax and enjoy. There are many English study materials for class, travel, TOEIC and Kogyou Eiken. But best of all there are foreign teachers who love meeting you and helping you learn English and about foreign cultures. Beginner to advanced speakers are very welcome. Please come and visit us.

私たちが皆さんの大学生活をサポートします！

日本工業大学学業奨励奨学金(新2・3・4年生) 大川陽康奨学金

平成29年度の学業奨励奨学生および大川陽康奨学生が決定した。本奨学金は、年間を通じて学業成績・人物ともに優秀な大学院生、学部生が選考される。

学業奨励奨学生のエクセレントス

チューデントには50万円、リマーカーカブスチューデントには20万円、大川陽康奨学生には20万円の奨学金が給付される。

本年度は、学業奨励奨学生111名、大川陽康奨学生25名が採用された。

平成29年度 日本工業大学学業奨励奨学生名簿

エクセレント スチューデント				
学群	年次	2年次	3年次	4年次
		氏名 (出身校)	氏名 (出身校)	氏名 (出身校)
機械システム学群		齋藤佑太 (不動岡)	辻内愛 (高校卒業程度認定試験)	春日啓汰 (岡谷工業)
		堀川翔平 (東海大附属高輪台)	山田耀大 (ルネサンス)	山中裕介 (清水)
		益子佳大 (大田原)	増田美咲 (いずみ)	西塚賢作 (八戸工業)
		皆藤優太 (松戸)	湯沢将大 (鹿沼東)	國谷海貴 (足立学園)
電子情報メディア学群		野澤慶久 (宇都宮南)	高祖智弘 (王子総合)	高橋大希 (武南)
		奥澤柚太 (足利特別支援)	鈴木陽大 (勝田工業)	遠藤匠 (佐野松校)
		西尾公寿 (白岡)	高橋昂靖 (湯沢翔北)	青木俊親 (専修大学松戸)
		榎本大貴 (久喜工業)	奥田拓海 (柏の葉)	小西大気 (熊谷工業)
建築デザイン学群		関勇介 (大宮西)	手塚大湖 (春日部)	小尾広幸 (日本工業大学駒場)
		増野紗紗 (東工大附属科学技術)	網中怜也 (日本工業大学駒場)	林優成 (栄北)
		宮澤拓磨 (川越工業)	小林千祥 (水戸工業)	戸井泉 (長野工業)
		松山涼 (須賀川桐陽)	増田愛 (与野)	藤山莉沙 (工芸)
リマーカーカブ スチューデント				
学群	年次	2年次	3年次	4年次
		氏名 (出身校)	氏名 (出身校)	氏名 (出身校)
機械システム学群		齋木敏哉 (館林)	田村友唯 (春日部工業)	大谷和也 (大宮北)
		廣橋康之 (宇都宮工業)	菅野涼太 (上尾南)	井上祐輔 (桶川)
		山形智久 (前橋工業)	海老優季 (銚子)	小野塚崇祐 (長岡工業)
		栗原光平 (栃木工業)	河西郁哉 (佐野東)	町屋龍乃佐 (日本工業大学駒場)
		大澤聖也 (伊勢崎工業)	神山茜菜 (宇都宮南)	遊佐涼太 (橋)
		相馬咲絵 (竹園)	西盛宏 (日本工業大学駒場)	藤咲要 (勝田工業)
		瀧澤七五杜 (狭山工業)	木村仁斗 (五所川原工業)	玉置将大 (大宮)
		古郡久正 (四ツ葉学園中等教育)	工藤優希 (春日部工業)	五位野育郎 (浦和実業学園)
		竹之内康希 (利根実業)	中嶋悠登 (豊島)	池田龍一 (流山北)
		海宝優志 (浦和東)	青木誠也 (栃木工業)	斎藤章智 (宇都宮白楊)
		原笹由衣 (伊奈学園総合)	高田友輔 (小高工業)	金子遊音 (山形電波工業)
		千葉光 (宇都宮清陵)	内野與也 (東京農業大学第三)	小倉澤貴史 (富岡実業)
		町田友輝 (宇都宮短期大学付属)	青木聖弥 (越谷南)	木村太亮 (春日部工業)
		諏訪部春輝 (桜丘)	久保田一輝 (進修館)	横岡諒介 (神奈川工業)
		弓田快 (会津工業)	越膳佑気 (日本工業大学駒場)	畦地耕平 (杉戸)
		萩原歩 (伊勢崎)	塚田克樹 (古河第一)	木村隆寛 (越谷総合技術)
電子情報メディア学群		高橋鉄郎 (前橋東)	畠山亮大 (常北特別支援学校)	中澤祐紀 (東)
		後藤雅史 (志学館高等部)	谷澤勇樹 (原町)	関口拓郎 (太田工業)
		神田慎 (久喜工業)	上野満晴 (大宮工業)	小林雄祐 (長野工業)
		塚崎寛太 (宇都宮工業)	荒井達喜 (佐野松校)	岡部大樹 (川越工業)
		横田理紗 (上越総合技術)	綱川毅 (春日部工業)	植松明希 (太田女子)
		瀧澤恒太 (藤岡中央)	山岸はるか (上田千曲)	宇田川亮太 (春日部工業)
		徳重佳那子 (大妻中野)	佐藤大地 (春日部工業)	毛塚さやか (栃木女子)
		皆川美佐姫 (会津工業)	相澤宏樹 (熊谷工業)	石山聖奈 (新潟工業)
建築デザイン学群		向山泉美 (市川工業)	坂本佳奈 (小川)	陰山愛 (郡山北工業)

平成29年度 日本工業大学大川陽康奨学金奨学生名簿

専攻	氏名 (出身校)	専攻	氏名 (出身校)
機械システム工学	平井尚輝 (羽生第一)	電子情報メディア工学	石川成之助 (古河第三)
	黒沢向 (下館工業)		金子将也 (羽生第一)
	長倉智史 (春日部共栄)		大戸雄一朗 (久喜工業)
	酒井達也 (開智)		柴田尚明 (鶴岡工業)
	安藤直博 (浦和北)		一戸祐汰 (五所川原工業)
	吉田信志 (郡山北工業)		高山源貴 (日工大駒場)
	脇本智正 (日工大駒場)		里見凌一 (桐生)
	梶岸智哉 (川越工業)		吉田将宣 (石岡第一)
	細谷拓実 (上三川)		森上友唯 (金沢市立工業)
	栗栗 (中華人民共和国) ※平成28年度秋入学		畔上光司 (長野工業)
環境共生システム学	大木隆太 (朝霞)	建築デザイン学	森優海 (桐生工業)
	新井颯太 (秩父)		内沼育也 (日工大駒場)
	種部千遥 (古河第三)		

保護者のための
就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで

保護者のための就職ガイダンス

就活の準備はもう済ませよう！

5/20(土) 4-401教室

入場無料

お問い合わせは就職支援課まで



環境活動について報告する学生環境推進委員

協議会では理事長、学長の挨拶に続き、学生環境推進委員会委員長である三上君から挨拶があった。その後、双方から資料に基づいて年間の環境活動についての取組み状況が報告された。また、意見交換が活発に



会議に出席した成田学長(中央)

ある人材育成を目的とした彩の国連携力育成プロジェクトの学長会議が埼玉県大で開催された。同プロジェクトは平成24年度文部科学省大学間連携共同教育推進事業の採択を受けた埼玉県大、埼玉医科大学、城西大と本学による取組みである。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

学長会議では5年間の成果が確認され、彩の国連携科目の共同開講継続と「連携力」ある人材育成に向けた学部教育に留まる旨の協定が結ばれた。

彩の国連携力育成プロジェクト

学長会議を実施、新たな協定を締結

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

EMS環境推進協議会開催

年間の環境活動を報告

2月1日、情報工学科実験研究棟5階の会議室にてEMS推進協議会が開催された。

本協議会は大学と学生双方の環境推進担当者からの実績報告とコミュニケーションを図る目的で、毎年実施されており、今年で13回目となる。大学からは柳澤理事長や成田学長をはじめとする環境推進の中心となっている教職員20名、学生側は学生環境推進委員会委員ら23名が出席した。

協議会では理事長、学長の挨拶に続き、学生環境推進委員会委員長である三上君から挨拶があった。その後、双方から資料に基づいて年間の環境活動についての取組み状況が報告された。また、意見交換が活発に

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

協議会終了後はアルテリバー(談話室)に場所を移して懇親会が催され、参加者同士が親交を深めた。

低炭素杯 優良賞受賞



12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

12月9日、本学のサステイナブルキャンパス構築への活動が「低炭素杯2017」の優良賞を受賞した。この表彰制度は

編集後記

募集しています。4月から活動を開始し、イベントの企画・運営やポスター・パンフレットの作成、当日の交通整理・美化活動などを各委員会に分かれて行います。実行委員の詳しい情報はホームページや広報3月号で紹介しています。皆さんのご参加をお待ちしています。一緒に夏の思い出をつくりましょう！